患者さんへ

がん診療地域連携パスのご案内

「地域連携パス」は、かかりつけ医と市立東大阪医療センターが連携し、役割を分担して患者さんの治療にあたります。

- 日々の診察と薬の処方はかかりつけ医が行います。
- 節目の診察、検査、入院は市立東大阪医療センターが担当します。

治療は共通の治療計画書(パス冊子)に沿って行われていますので、同じ診療方針で 治療を受けられます。

患者さんの診療情報は、かかりつけ医と市立東大阪医療センターで共有致しますので、 患者さんは必要な治療をスムーズに受けることができます。

かかりつけ医

日常の通院

- ■日常的な体調管理
- ■お薬の処方
- ■血液検査

情報の共有

紹介

逆紹介

市立東大阪医療センター

検査・入院

- ■定期診察
- ■定期検査

(CT·超音波検查·内視鏡検查等)

定期受診

定期受診

自宅の近くで 診てもらいたい

ゆっくり話しを 聞いて欲しい

> 検査の重複を 避けたい



がん連携パス冊子

受診の時には冊子を 持って行きましょう